

「農業系公設試験研究機関の連携」(H16.10~)

【幹事】福岡県 農林水産部 農林水産政策課

【参加県】福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県、山口県

目的

農業系公設試験研究機関相互の連携による効果的・効率的な研究を推進するための、広域連携のあり方や九州ブランド育成に向けた具体的な推進策の検討

取組内容・成果

1 取組内容

- H16年10月、「農業関係試験場広域連携研究会」を設置し、連携策を検討・策定
- H18年6月第127回九州地方知事会議で設置承認された「農業関係試験研究広域連携推進会議」の中で、
 - ①相互補完体制、②将来の九州ブランド育成、③各県共同の技術開発、④研究員の人的交流について、具体的な検討を実施

2 成果

(1)相互補完体制

- ①機器、施設の相互利用に関する申し合わせ事項策定(H19.11.1)
 - ・機器・施設の相互利用実施(H19~29累計17件)
- ②地域全体による権利侵害への対応
 - ・権利侵害に関する担当者会議の開催(権利侵害に関する情報交換や現地指導等の協力方法を協議)
 - ・各県育成品種に関する育成者権の侵害への対応を該当県が協力して実施(H19~29累計13件)

(2)将来の九州ブランド育成に係る広域連携試験研究

- ①白輪ギクの九州統一品種 候補選定試験(参加県:福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、山口県)
 - ・12品種について比較試験を実施し、3品種に絞り込み。実需者及び生産者に対し試験結果を情報提供
- ②焼酎用大麦「はるしずく」の安定栽培技術確立試験(参加県:福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県)
 - ・栽培技術が確立され、福岡県、熊本県において栽培面積が急増(H18:39ha → H29:4,456ha)
 - ・「はるしずく」を原料とした焼酎の商品化
- ③アスパラガスの周年供給体系技術確立試験(参加県:佐賀県、長崎県、大分県)
 - ・周年供給や連作障害対策技術を確立



九州統一品種候補として選定された白輪ギク品種

- (左):「新神(あらじん)」(鹿児島県育成) 【特徴】花が大きく形が良い。栽培管理が省力的。
- (中央):「雪姫(ゆきひめ)」(福岡県育成) 【特徴】開花の揃いが良い。花が大きく長持ちする。
- (右):「神馬(じんば)2号」(鹿児島県選抜) 【特徴】低温期でも、生育が良い。



焼酎用大麦として導入が進んでいる「はるしずく」(福岡県育成)

(3)各県共同の技術開発

- ・平成29年度の共同研究は63 課題で、役割を分担し効率的な研究開発を実施

(4)研究員の人的交流

- ・「九州・山口農業系公設試験研究機関研究員の人的交流に関する申し合わせ事項」の策定(H23.3.4)

今後の課題・取組

引き続き相互補完及び共同研究を推進するため、毎年度末に取組状況を確認し、情報を共有する。